

緑が丘

学校教育目標

自ら考え
正しい行動のできる
心豊かな生徒の育成

緑が丘中学校

学校通信 NO5

令和5年9月1日

自らの意志でやり続け「エンジョイ」する

今年の夏は過去125年間で最も暑い夏といわれています。8月末になりようやく空に雲が沸き上がる様子が見られるようになりました。午後には雷や強い雨が降るなどようやく季節の変化を感じます。

この夏休みも、さまざまな場面で生徒の皆さんのいきいきとした姿にふれることができ、大変うれしく思っています。過酷な暑さの中での日々の部活動。県大会、近畿大会、そして全国大会という大舞台へ

の挑戦とつかんだ素晴らしい結果。新チームの始動。吹奏楽コンクールでの演奏。生徒会交流会への参加など学校での生活とはちがう経験は、かけがえのないものとなったはずです。

また、「みっきい夏祭り」をはじめ地域のお祭りも開催されました。多くの生徒の皆さんがお手伝いをしたり楽しむ様子がみられました。まずは参加することから。そして次は、地域の担い手として様々な場面で活躍することを期待しています。

さて、今年も甲子園では高校球児の熱い戦いが繰り広げられ、慶應義塾(神奈川)(以下慶應)が連覇を目指した仙台育英(宮城)を下し、107年ぶり2度目の優勝を飾りました。慶應は自由な髪型や、「エンジョイ・ベースボール」の精神など、これまでの高校野球の伝統に新風を吹かせ大きな話題となっています。

慶應の代名詞とも言える「エンジョイ・ベースボール」は今回の慶應の躍進とともに、多くの人に知られることになりましたが、昔から慶大野球部に根付いている言葉だそうです。慶大の堀井哲也監督は「エンジョイ・ベースボール」についてこう話しておられます。「試合を楽しむためには勝たなければならないし、個人であれば結果を出さなければいけない。この2つなくしてエンジョイはできません。そして当然ながら、そのための練習や努力を重ねなければなりません。私はその過程もエンジョイだと思っています。血がにじむような日々であっても、それは苦勞を重ねたのではなく、エンジョイしたのだと。その精神こそがエンジョイ・ベースボールだと考えています。」エンジョイ・ベースボールとは、決して明るく楽しく勝つ野球ではない。試合を楽しむには勝つことが、結果を出すことが不可欠であり、過程を楽しむには「自らの意志でやり続ける」ことが不可欠だ。2つとも生半可なことではないが、「エンジョイ・ベースボール」は、今夏の慶應のように両方を成し遂げた時に初めて使える言葉だと思います。本質的な事を追求するからこそ、ぶれない様々な力が湧いてくるのだと思います。

2学期は、修学旅行、校外学習、合唱祭、文化祭など多くの行事があります。自らの意志で目的を持って取り組み、エンジョイしてください。そして素晴らしい思い出を創りましょう。

(校長 西臺 士郎)



雲間に架かる虹の橋

《愛校作業を行いました》

8月18日の朝、1年生徒と教職員で、愛校作業を行いました。校務員さんが刈った草を集めて袋詰めにして、ごみ集積場に運びました。1年生が頑張ってくれたおかげで、2学期を気持ちよくスタートできます。



《陸上競技の全国大会に3名出場しました》

8月22～25日に開催された「第50回全日本中学校陸上競技選手権大会」(愛媛県総合運動公園)に、3名の陸上部員が出場しました。

共通男子四種競技 3年 長谷川さん
共通男子1500m 3年 岩崎さん
共通女子800m 2年 竹谷さん

みんな、不断の努力で全国大会出場を決め、さらに長谷川さんは、四種競技全国2位と大健闘しました。3人とも本当によく頑張りました。



《体育館の照明がLEDに変わりました》

夏休み中に交換工事を行いました。明るくなって、活動がしやすくなりました。



9月の行事予定表は、保護者専用ページに載せています。